

【議長賞】給食の思い出

安城北部小学校 堤 龍汰

僕がいままで学校の給食の中で一番好きなメニューを発表します。それはずばり、ごはんです。学校給食に出てくるごはんには、麦ごはん、白ごはん、わかめごはんなどがありますが、特に僕が好きな種類は白ごはんです。なぜ白ごはんが一番かというところ、どんなおかずにも合う、と僕は思うからです。

給食メニューの中で白ごはんに合うおかずベスト3は、3位は野菜炒め、2位肉じゃが、1位マーボー豆腐です。マーボー豆腐は家でも炊き立てごはんにかけてどんぶりで食べるのが大好きです。おかわりは絶対します。学校の給食でもマーボー豆腐の時は絶対と言って良いほど毎回おかわりします。おかわりといえ、失敗した思い出もあります。一年生の時におかわりを5回もしたせいで、お腹が痛くなってしまうお母さんに迎えに来てもらいました。その時に、

「おかわりは2回までね。」
と言われました。しかし、今6年生になっておかわりを2回以上しています。これはお母さんには内緒でしたが、作文の下書きをしているときにバレてお母さんは笑っていました。

また、学校給食についての作文の話をしていると、お母さんからお米マイスターの事を教えてもらいました。

みなさんはお米マイスターを知っていますか？

お米マイスターとは、お米に関する専門職経験がある人のみに受験資格がある、お米の博士号とも言える資格です。お米マイスターの人たちは、日本古来の優れた食文化、お米文化を見つめ直し、ごはん食を中心とした健康的な食生活と“ごはん”の美味しさ、素晴らしさを多く受け継いでゆきたいと考えて活動しているそうです。

お米マイスターが小学校に出向いて、お米に関する特別授業もおこなっていて、お米がどのように作られているか“ごはん”の素晴らしさや大切さなどを、お米の専門家として将来を担う子供達に伝えていきます。安城北部小学校にもお米マイスターに来て欲しいです。

お母さんの小学生時代は、ごはん給食よりパン給食の方が多かったそうです。北部小学校は、ごはん給食の方が多いと思うので、ラッキーでした。

「毎回、美味しい給食を作ってくれている給食センターの人にも感謝だね。」
とお母さんとも話をしていました。

6年生もあと半分くらいなので一日も休む事なく給食を食べたいです。